

苫米地英俊氏の逝去 について

元小樽高等商業学校長、小樽経済専門
学校長 苫米地英俊氏には 去る5月5日
狭心症で逝去されましたのでお知らせ
いたします。

こゝに謹んでおくぐみ申し上げます。
なお通夜、葬儀等の日程は下記のとおりです。

記

通夜	5月6日	午後6時より
葬儀	5月7日	正午より
告別式	5月7日	午後1時より
場所	東京都港区麻布 ^{しょうがい} 等所 大本山永平寺別院	

おって、当学においても先生のご冥福と祈る
ため、ご焼香の会場を7日正午より午後1時
までオム会議室に設けましたので、お知ら
せ致します。

糸島会館

上金 野 氏

戸井 氏

少林 氏

新村 氏

山谷 氏

井野 氏

川島 氏

酒井 氏

石井 氏

井野 氏

同	九月三十日	賜一級俸	文部省
同	同十七年五月十六日	陞叙高等官一等	内閣
同	同十九年四月一日	官制改正 小樽經濟專門學校 教授	
同	同二十年四月一日	大日本教育會北海道分會 特設文部副文部長ヲ 兼職ス	大日本教育會會長
同	八月十五日	叙正六位上 授瑞寶章	賞叙
同	九月三十日	正俸 金六百圓加賜	文部省
同	二月十五日	叙從三位	宮内省
同	同二十一年三月十三日	依 免本官	内閣
	二十一年四月	衆議院議員 以時 貶 同議員	
	二十四年四月	札幌短期大學長 兼任	
	二十八年四月	北海道自和車短期大學長 兼任	
	三十一年	衆議院議員 以時 貶 衆議院議員	
	三十九年十一月	三宅重次郎 功績者トシテ 文部大臣 表彰 受賞ス	
小樽高等商業學校			
現任			
借道 借道理事	全日本柔道連盟理事 兼 岩手外部同業理事	此同任人	
局長 局長 代理	正二位 初等	加日重光章 昭三十九年十一月	

履 歷 書

長野縣長野市
 長野縣
 番地

苦 米 英 傳

明治十七年十二月一日生

年 月 日	學 業 官 職 賞 罰 等	當該官衙等
明治廿七年三月卅日	長野縣立長野中學校卒業	
同 九月十一日	東京外國語學校英語本科入學	
同四十年三月卅日	同校卒業	
同 同	副科國語漢文、國際法、經濟學修了	
同 四月二日	東京博覽會事務員被命	
同 同	月手當五拾圓	
同 廿三日	英語科中等教員免許狀被授	
同 九月 五日	東京府通譯兼履被命	
同 同	給六級俸	
同 十月三十日	依願本官並兼官被免	
同 十一月一日	宏文學院英語講師被聘託	
同四十二年四月廿七日	東京外國語學校講師被聘託	
同 同	月手當貳拾五圓交付	
同 七月十五日	同講師被解	
同四十四年五月十五日	同講師被聘託	
同 同	月參拾圓給與	
同 七月十五日	同講師被解	
同卅八年三月十五日	講道館二入門	
同 十月十五日	初段二被列	
同四十年十月十九日	二段二被列	

小樽高等商業學校

元商大教授大谷氏より伝言

吉米地英俊先生……TEL(三九二)三〇三六

通夜 六日 六時

葬儀 七日 正午～一時

告別式 七日 一時～二時

◎東京都港区麻布笈町大本山永平寺

七日 朝日新聞 広告 （徳島県） 別院

喪主 としひろ 任村下村

友人代表

。講道館館長 嘉納利正

。佐々木周一

。宮平 園

学長・事務局長 大野氏 連絡済